

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 063	提案機関名 全農神奈川県本部 農産部
要望問題名 ミツバチ不足に対応するための「代替技術」の研究について(継続)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 いちご農家を中心にミツバチ不足により安定した栽培への不安が高まっているところである。クロマルハナバチ等の代替技術の確立を図ると共にその普及を進めていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ミツバチは施設園芸作物を中心に多くの需要があります。特にイチゴはミツバチを利用することで受粉を行い、正常な果実を結実させているため、ミツバチの不足はイチゴ生産に大きな影響を与えます。ミツバチの代替として、クロマルハナバチは生産・販売を行う複数のメーカーから利用技術に関する情報が提供されております。また、ミツバチの不足は購入が困難な状況だけでなく、購入後、利用時のハウス内における農薬散布が影響しているとの指摘もされています。ミツバチの適切な管理を徹底するとともに、ミツバチ不足時にはクロマルハナバチの利用技術情報に基づいた現地対応をお願いします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			